

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	1. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 2. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド	
ベビーファンドの運用方法	<p>①主としてマザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。</p> <p>②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、信託財産の純資産総額の50%を中心に、40%程度から60%程度の範囲内とします。組入比率の合計は、通常の状態 で信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>③各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨および新興国通貨の中からそれぞれ3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。</p> <p>※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。</p> <p>④投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外国債券ファンド （毎月分配型） ーダイワスピリットー

運用報告書（全体版）

第84期	（決算日	2016年 3月10日）
第85期	（決算日	2016年 4月11日）
第86期	（決算日	2016年 5月10日）
第87期	（決算日	2016年 6月10日）
第88期	（決算日	2016年 7月11日）
第89期	（決算日	2016年 8月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー」は、このたび、第89期の決算を行ないました。

ここに、第84期～第89期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4792>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
60期末(2014年3月10日)	7,830	50	2.1	13,829	2.3	17,304	2.8	95.1	—	80,230
61期末(2014年4月10日)	8,092	50	4.0	13,731	△ 0.7	17,760	2.6	96.7	—	82,164
62期末(2014年5月12日)	8,114	50	0.9	13,804	0.5	17,980	1.2	94.3	—	81,633
63期末(2014年6月10日)	8,152	50	1.1	13,934	0.9	18,338	2.0	95.9	—	81,206
64期末(2014年7月10日)	8,113	50	0.1	13,925	△ 0.1	18,284	△ 0.3	96.4	—	80,232
65期末(2014年8月11日)	7,995	50	△ 0.8	13,943	0.1	17,944	△ 1.9	97.5	—	78,571
66期末(2014年9月10日)	8,225	50	3.5	14,301	2.6	18,613	3.7	96.1	—	79,773
67期末(2014年10月10日)	8,070	50	△ 1.3	14,547	1.7	18,521	△ 0.5	95.4	△ 3.0	77,722
68期末(2014年11月10日)	8,295	50	3.4	15,302	5.2	19,215	3.8	90.6	△ 3.4	79,383
69期末(2014年12月10日)	8,561	50	3.8	15,994	4.5	19,509	1.5	96.6	△ 13.6	80,673
70期末(2015年1月13日)	8,426	50	△ 1.0	15,792	△ 1.3	18,854	△ 3.4	96.6	△ 19.9	79,056
71期末(2015年2月10日)	8,090	50	△ 3.4	15,590	△ 1.3	18,834	△ 0.1	92.3	—	75,364
72期末(2015年3月10日)	7,757	50	△ 3.5	15,549	△ 0.3	18,370	△ 2.5	93.9	△ 13.5	71,801
73期末(2015年4月10日)	7,849	50	1.8	15,526	△ 0.1	18,913	3.0	95.9	△ 11.5	71,227
74期末(2015年5月11日)	7,722	50	△ 1.0	15,586	0.4	18,785	△ 0.7	93.0	△ 6.3	69,764
75期末(2015年6月10日)	7,727	50	0.7	15,837	1.6	18,746	△ 0.2	95.2	△ 8.3	69,153
76期末(2015年7月10日)	7,455	50	△ 2.9	15,445	△ 2.5	18,249	△ 2.6	92.0	△ 2.3	66,560
77期末(2015年8月10日)	7,351	50	△ 0.7	15,927	3.1	18,040	△ 1.1	94.1	△ 4.6	65,216
78期末(2015年9月10日)	6,650	50	△ 8.9	15,570	△ 2.2	16,401	△ 9.1	92.1	△ 5.7	57,868
79期末(2015年10月13日)	6,787	50	2.8	15,698	0.8	17,296	5.5	91.9	△ 9.1	58,625
80期末(2015年11月10日)	6,742	50	0.1	15,538	△ 1.0	17,171	△ 0.7	93.6	—	57,708
81期末(2015年12月10日)	6,674	50	△ 0.3	15,683	0.9	16,793	△ 2.2	94.1	△ 4.6	56,473
82期末(2016年1月12日)	6,082	50	△ 8.1	14,948	△ 4.7	15,571	△ 7.3	93.5	△ 9.9	50,874
83期末(2016年2月10日)	6,093	50	1.0	15,179	1.5	15,706	0.9	93.8	△ 10.0	50,369
84期末(2016年3月10日)	6,146	50	1.7	14,765	△ 2.7	16,277	3.6	92.1	△ 2.9	50,548
85期末(2016年4月11日)	5,931	50	△ 2.7	14,568	△ 1.3	16,136	△ 0.9	93.2	—	47,764
86期末(2016年5月10日)	5,837	50	△ 0.7	14,528	△ 0.3	16,165	0.2	94.0	—	46,256
87期末(2016年6月10日)	5,818	50	0.5	14,392	△ 0.9	16,300	0.8	93.8	—	45,544
88期末(2016年7月11日)	5,506	50	△ 4.5	13,617	△ 5.4	15,544	△ 4.6	95.2	—	42,708
89期末(2016年8月10日)	5,582	50	2.3	13,848	1.7	16,088	3.5	95.4	—	42,678

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド（円換算）は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼンツ・マーケット グローバルダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼンツ・マーケット グローバルダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

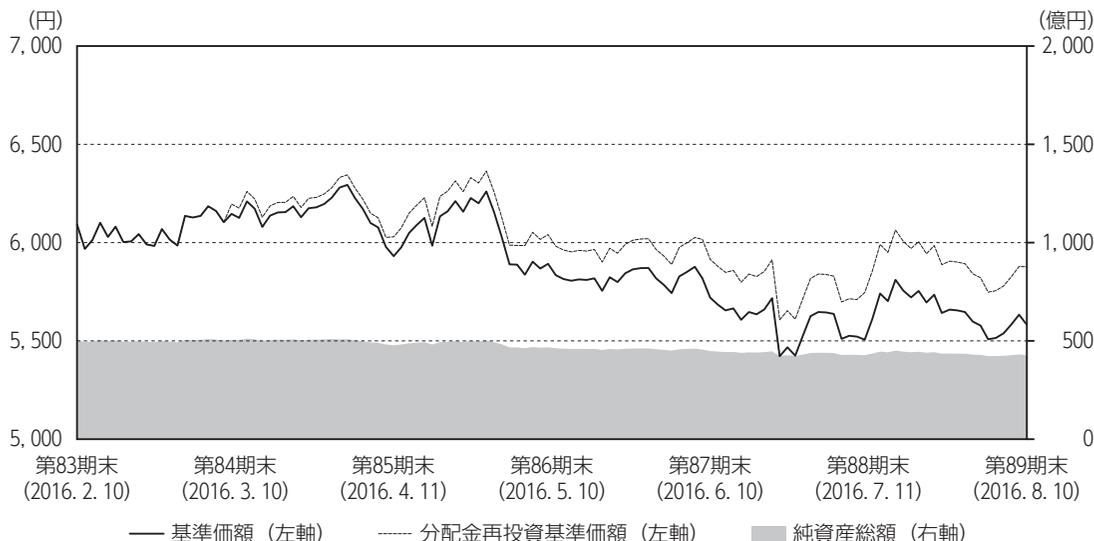
(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第84期首：6,093円

第89期末：5,582円（既払分配金300円）

騰落率：△3.5%（分配金再投資ベース）

■組入ファンドの当作成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	△3.6%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	△2.3%

■基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、投資している通貨が対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額のプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第84期	(期首) 2016年 2月10日	6,093	—	15,179	—	15,706	—	93.8	△ 10.0
	2月末	6,016	△ 1.3	14,847	△ 2.2	15,607	△ 0.6	92.3	△ 5.1
	(期末) 2016年 3月10日	6,196	1.7	14,765	△ 2.7	16,277	3.6	92.1	△ 2.9
第85期	(期首) 2016年 3月10日	6,146	—	14,765	—	16,277	—	92.1	△ 2.9
	3月末	6,280	2.2	15,062	2.0	16,832	3.4	92.8	—
	(期末) 2016年 4月11日	5,981	△ 2.7	14,568	△ 1.3	16,136	△ 0.9	93.2	—
第86期	(期首) 2016年 4月11日	5,931	—	14,568	—	16,136	—	93.2	—
	4月末	6,157	3.8	14,787	1.5	16,657	3.2	92.3	—
	(期末) 2016年 5月10日	5,887	△ 0.7	14,528	△ 0.3	16,165	0.2	94.0	—
第87期	(期首) 2016年 5月10日	5,837	—	14,528	—	16,165	—	94.0	—
	5月末	5,870	0.6	14,739	1.5	16,180	0.1	94.1	—
	(期末) 2016年 6月10日	5,868	0.5	14,392	△ 0.9	16,300	0.8	93.8	—
第88期	(期首) 2016年 6月10日	5,818	—	14,392	—	16,300	—	93.8	—
	6月末	5,626	△ 3.3	13,866	△ 3.7	15,824	△ 2.9	94.4	—
	(期末) 2016年 7月11日	5,556	△ 4.5	13,617	△ 5.4	15,544	△ 4.6	95.2	—
第89期	(期首) 2016年 7月11日	5,506	—	13,617	—	15,544	—	95.2	—
	7月末	5,647	2.6	14,187	4.2	16,071	3.4	95.2	—
	(期末) 2016年 8月10日	5,632	2.3	13,848	1.7	16,088	3.5	95.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は、当作成期間を通して金利はおおむね低下（債券価格は上昇）しました。

第84期首より、原油価格の動向や米国の利上げ観測の推移に影響され、金利は上下に動きました。2016年6月初旬に、市場予想を大幅に下回る米国の雇用者数の伸びが発表されると米国の早期利上げ観測が後退し、金利低下圧力が強まりました。また、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票で予想外にEU離脱派が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことも金利低下の材料となりました。

・新興国

新興国債券市況は、当作成期間を通してみると金利はおおむね低下しました。

米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市場の上昇から投資家心理が改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

○為替相場

・先進国

先進国為替相場は、下落（円高）しました。

第84期首より2016年3月にかけては、原油価格が底打ちの様相となって豪ドルやカナダ・ドルといった資源国通貨が買い戻されました。4月以降は、日銀の主要な金融政策において追加緩和が見送られたことや米国の早期利上げ観測の後退などから、円高傾向での推移となりました。また、英国のEU離脱への懸念から市場のリスク回避姿勢が強まったことも円高の材料となりました。その後は、7月の参議院選挙での与党の勝利を受けて経済対策への期待が高まる中で円は反落しましたが、原油価格が下落したことや7月下旬の日銀の追加金融緩和政策が期待外れの内容となったことなどから、再度円高圧力が強まりました。

・新興国

新興国為替相場は、当作成期間を通してみると対円でおおむね下落しました。

米国の利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑等によって円高が進展したことから、投資対象通貨は南アフリカ・ランドを除き、対円でおおむね下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

当作成期間中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

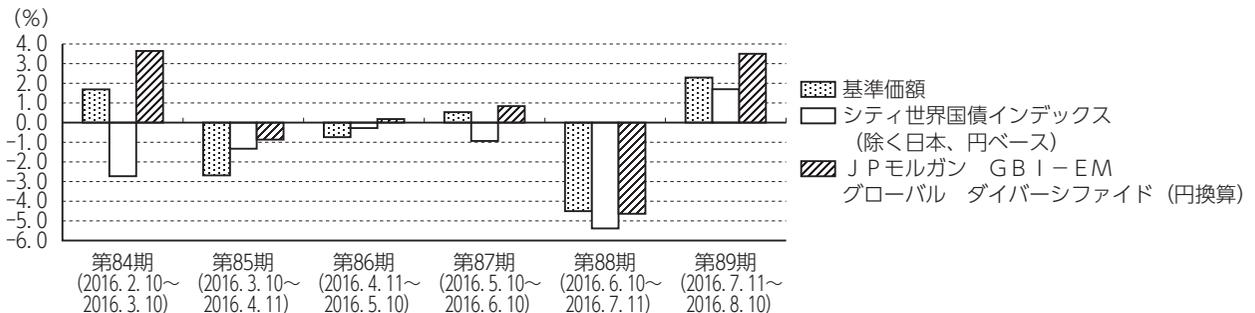
通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。当期間中に信用力を考慮し、投資対象通貨および基本通貨配分の一部変更を行ないました。新たな基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

当期間の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第84期から第89期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ50円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2016年2月11日 ～2016年3月10日	2016年3月11日 ～2016年4月11日	2016年4月12日 ～2016年5月10日	2016年5月11日 ～2016年6月10日	2016年6月11日 ～2016年7月11日	2016年7月12日 ～2016年8月10日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率（％）	0.81	0.84	0.85	0.85	0.90	0.89
当期の収益（円）	23	20	17	20	17	22
当期の収益以外（円）	26	29	32	29	32	27
翌期繰越分配対象額（円）	561	532	499	470	438	411

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	23.79円	20.67円	17.84円	20.96円	17.82円	22.82円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	47.22	47.80	48.38	49.10	49.68	50.12
(d) 分配準備積立金	540.29	513.53	483.64	450.79	421.20	388.59
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	611.31	582.01	549.87	520.86	488.71	461.55
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	561.31	532.01	499.87	470.86	438.71	411.55

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期		項 目 の 概 要
	(2016. 2. 11～2016. 8. 10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	41円	0.701%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,895円です。
(投信会社)	(16)	(0.275)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(24)	(0.405)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.001	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(先物)	(0)	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.035	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	43	0.736	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年2月11日から2016年8月10日まで)

決算期	第84期～第89期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	—	—	3,432,922	5,498,000
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	1,389,639	1,800,000	1,724,454	2,233,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第84期～第89期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第83期末			第89期末		
	□数	□数	評価額	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	18,082,826	14,649,903	22,575,501			
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	16,548,543	16,213,728	20,533,066			

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年3月10日)、(2016年4月11日)、(2016年5月10日)、(2016年6月10日)、(2016年7月11日)、(2016年8月10日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	51,041,159,539円	48,250,458,686円	46,720,073,438円	46,087,558,530円	43,206,199,950円	43,161,921,453円
コール・ローン等	395,514,627	105,093,657	581,781,836	93,607,031	10,226,295	53,354,020
ダイワ外国債券先進国マザーファンド（評価額）	27,077,198,656	25,396,543,821	24,818,741,451	24,550,353,014	22,666,552,261	22,575,501,427
ダイワ外国債券新興国マザーファンド（評価額）	23,468,446,256	22,239,821,208	21,319,550,151	21,443,598,485	20,009,421,394	20,533,066,006
未収入金	100,000,000	509,000,000	—	—	520,000,000	—
(B) 負債	492,687,155	485,521,560	463,349,790	543,361,258	497,355,627	483,011,670
未払収益分配金	411,207,587	402,705,597	396,208,481	391,428,054	387,837,950	382,278,979
未払解約金	25,719,349	20,603,498	12,235,578	96,390,384	56,442,232	49,292,541
未払信託報酬	55,593,278	61,852,088	54,374,327	54,827,534	52,167,636	50,334,203
その他未払費用	166,941	360,377	531,404	715,286	907,809	1,105,947
(C) 純資産総額（A－B）	50,548,472,384	47,764,937,126	46,256,723,648	45,544,197,272	42,708,844,323	42,678,909,783
元本	74,017,365,695	72,487,007,594	71,317,526,584	70,457,049,853	69,810,831,029	68,810,216,300
次期繰越損益金	△23,468,893,311	△24,722,070,468	△25,060,802,936	△24,912,852,581	△27,101,986,706	△26,131,306,517
(D) 受益権総口数	82,241,517,439□	80,541,119,549□	79,241,696,204□	78,285,610,947□	77,567,590,032□	76,455,795,889□
1万口当り基準価額（C/D）	6,146円	5,931円	5,837円	5,818円	5,506円	5,582円

* 第83期末における元本額は74,399,912,467円、当作成期間（第84期～第89期）中における追加設定元本額は521,962,300円、同解約元本額は6,111,658,467円です。

* 第89期末の計算口数当りの純資産額は5,582円です。

* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は26,131,306,517円です。

■投資信託財産の構成

2016年8月10日現在

項目	第89期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	22,575,501	52.3
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	20,533,066	47.6
コール・ローン等、その他	53,354	0.1
投資信託財産総額	43,161,921	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝101.62円、1カナダ・ドル＝77.66円、1オーストラリア・ドル＝78.13円、1トルコ・リラ＝34.27円、1メキシコ・ペソ＝5.51円、1南アフリカ・ランド＝7.60円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第89期末における外貨建純資産（22,301,074千円）の投資信託財産総額（22,604,293千円）に対する比率は、98.7%です。
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第89期末における外貨建純資産（19,740,487千円）の投資信託財産総額（20,590,786千円）に対する比率は、95.9%です。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

■損益の状況

項 目	第84期 自 2016年 2月11日 至 2016年 3月10日 第85期 自 2016年 3月11日 至 2016年 4月11日	第85期	第86期 自 2016年 4月12日 至 2016年 5月10日 第87期 自 2016年 5月11日 至 2016年 6月10日	第87期	第88期 自 2016年 6月11日 至 2016年 7月11日 第89期 自 2016年 7月12日 至 2016年 8月10日	第88期	第89期
(A) 配当等収益	1,894円	1円	4,151円	4,319円	2,795円	2,840円	
受取利息	1,894	1	44	41	19	23	
支払利息	—	—	4,195	4,360	2,814	2,863	
(B) 有価証券売買損益	905,100,670	△ 1,273,707,537	△ 286,990,064	292,005,395	△ 1,976,816,634	1,014,972,987	
売買益	906,406,182	12,774,488	33,052,386	293,060,414	20,765,249	1,032,675,522	
売買損	△ 1,305,512	△ 1,286,482,025	△ 320,042,450	△ 1,055,019	△ 1,997,581,883	△ 17,702,535	
(C) 信託報酬等	△ 55,760,219	△ 62,045,524	△ 54,545,354	△ 55,011,416	△ 52,360,480	△ 50,532,341	
(D) 当期損益金 (A + B + C)	849,342,345	△ 1,335,753,060	△ 341,539,569	236,989,660	△ 2,029,179,909	964,437,806	
(E) 前期繰越損益金	△ 20,221,282,053	△ 19,353,212,741	△ 20,727,216,756	△ 21,173,306,504	△ 21,104,001,128	△ 23,158,446,655	
(F) 追加信託差損益金	△ 3,685,746,016	△ 3,630,399,070	△ 3,595,838,130	△ 3,585,107,683	△ 3,580,967,719	△ 3,555,018,689	
(配当等相当額)	(388,415,922)	(385,013,043)	(383,401,363)	(384,414,489)	(385,404,254)	(383,267,757)	
(売買損益相当額)	(△ 4,074,161,938)	(△ 4,015,412,113)	(△ 3,979,239,493)	(△ 3,969,522,172)	(△ 3,966,371,973)	(△ 3,938,286,446)	
(G) 合計 (D + E + F)	△ 23,057,685,724	△ 24,319,364,871	△ 24,664,594,455	△ 24,521,424,527	△ 26,714,148,756	△ 25,749,027,538	
(H) 収益分配金	△ 411,207,587	△ 402,705,597	△ 396,208,481	△ 391,428,054	△ 387,837,950	△ 382,278,979	
次期繰越損益金 (G + H)	△ 23,468,893,311	△ 24,722,070,468	△ 25,060,802,936	△ 24,912,852,581	△ 27,101,986,706	△ 26,131,306,517	
追加信託差損益金	△ 3,685,746,016	△ 3,630,399,070	△ 3,595,838,130	△ 3,585,107,683	△ 3,580,967,719	△ 3,555,018,689	
(配当等相当額)	(388,415,922)	(385,013,043)	(383,401,363)	(384,414,489)	(385,404,254)	(383,267,757)	
(売買損益相当額)	(△ 4,074,161,938)	(△ 4,015,412,113)	(△ 3,979,239,493)	(△ 3,969,522,172)	(△ 3,966,371,973)	(△ 3,938,286,446)	
分配準備積立金	4,227,934,677	3,899,896,174	3,577,720,783	3,301,786,497	3,017,579,229	2,763,290,087	
繰越損益金	△ 24,011,081,972	△ 24,991,567,572	△ 25,042,685,589	△ 24,629,531,395	△ 26,538,598,216	△ 25,339,577,915	

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	195,683,552円	166,550,107円	141,421,550円	164,106,566円	138,268,856円	174,505,287円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	388,415,922	385,013,043	383,401,363	384,414,489	385,404,254	383,267,757
(d) 分配準備積立金	4,443,458,712	4,136,051,664	3,832,507,714	3,529,107,985	3,267,148,323	2,971,063,779
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,027,558,186	4,687,614,814	4,357,330,627	4,077,629,040	3,790,821,433	3,528,836,823
(f) 分配金	411,207,587	402,705,597	396,208,481	391,428,054	387,837,950	382,278,979
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,616,350,599	4,284,909,217	3,961,122,146	3,686,200,986	3,402,983,483	3,146,557,844
(h) 受益権総口数	82,241,517,439口	80,541,119,549口	79,241,696,204口	78,285,610,947口	77,567,590,032口	76,455,795,889口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円
(単 価)	(6, 146円)	(5, 931円)	(5, 837円)	(5, 818円)	(5, 506円)	(5, 582円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2016年8月10日)

(計算期間 2016年2月11日～2016年8月10日)

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの第15期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

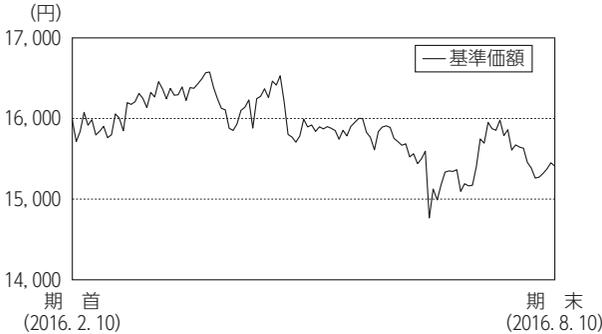
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) (参考指数)		公 社 債 債 券 組入比率 先物比率	
	円	%	騰落率	%	%	%
(期首) 2016年 2月10日	15,979	—	15,179	—	97.2	△ 17.4
2月末	16,003	0.2	14,847	△ 2.2	97.1	△ 8.9
3月末	16,568	3.7	15,062	△ 0.8	95.9	—
4月末	16,210	1.4	14,787	△ 2.6	93.9	—
5月末	16,000	0.1	14,739	△ 2.9	96.5	—
6月末	15,335	△ 4.0	13,866	△ 8.6	96.2	—
7月末	15,631	△ 2.2	14,187	△ 6.5	97.4	—
(期末) 2016年 8月10日	15,410	△ 3.6	13,848	△ 8.8	96.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)、シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,979円 期末：15,410円 騰落率：△3.6%

【基準価額の主な変動要因】

投資対象通貨の対円での値下がり (円高) による為替要因によって、基準価額は下落しました。一方、投資対象国の債券価格の上昇や債券の利息収入は、基準価額の下落を抑える要因となりました。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、期を通して金利はおおむね低下 (債券価格は上昇) しました。

期首より、原油価格の動向や米国の利上げ観測の推移に影響され、金利は上下に動きました。2016年6月初旬に、市場予想を大幅に下回る米国の雇用者数の伸びが発表されると米国の早期利上げ観測が後退し、金利低下圧力が強まりました。また、英国のEU (欧州連合) 離脱を問う国民投票で予想外にEU離脱派が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことも金利低下の材料となりました。

○為替相場

先進国為替相場は、下落 (円高) しました。

期首より2016年3月にかけては、原油価格が底打ちの様相となって豪ドルやカナダ・ドルといった資源国通貨が買い戻されました。4月以降は、日銀の主要な金融政策において追加緩和が見送られたことや米国の早期利上げ観測の後退などから、円高傾向での推移となりました。また、英国のEU離脱への懸念から市場のリスク回避姿勢が強まったことも円高の材料となりました。その後は、7月の参議院選挙での与党の勝利を受けて経済対策への期待が高まる中で円は反落しましたが、原油価格が下落したことや7月下旬の日銀の追加金融緩和政策が期待外れの内容となったことなどから、再度円高圧力が強まりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物)	0円 (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 (3)
合 計	3

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年2月11日から2016年8月10日まで)

		買 付 額	売 付 額	
外	アメリカ	千アメリカ・ドル 29,878	千アメリカ・ドル 36,104 (—)	
		千カナダ・ドル 28,100	千カナダ・ドル 38,961 (—)	
	カナダ	地方債証券	10,854	24,550 (—)
		特殊債券	10,124	— (—)
国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル 18,783	千オーストラリア・ドル 52,823 (—)	
		特殊債券	33,439	39,401 (600)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2016年2月11日から2016年8月10日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 6,996	百万円 12,041

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年2月11日から2016年8月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2019/2/28	2,081,189	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/2/28	2,118,977
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.25% 2026/4/21	1,379,270	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3.25% 2025/4/21	1,733,783
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/2/28	1,137,706	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.25% 2021/6/1	1,424,790
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3.25% 2021/6/1	975,996	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 2.75% 2024/4/21	1,417,404
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.25% 2025/6/1	937,332	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2019/2/28	1,221,679
QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 3.25% 2026/7/21	842,328	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5.75% 2021/5/15	1,179,322
CPPIB Capital Inc (カナダ) 1.4% 2020/6/4	803,986	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. (オーストラリア) 5% 2024/8/20	979,345
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 1.5% 2017/2/1	507,486	TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア) 6% 2020/6/15	770,177
KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 5.5% 2022/2/9	491,832	ONTARIO PROVINCE (カナダ) 4% 2021/6/2	674,237
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2.8% 2021/11/13	484,836	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.25% 2025/6/1	663,179

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 50,000	千アメリカ・ドル 52,712	千円 5,356,593	% 23.7	% —	% 11.7	% 10.6	% 1.4
カナダ	千カナダ・ドル 65,000	千カナダ・ドル 71,470	5,550,387	24.6	—	16.0	8.5	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 122,860	千オーストラリア・ドル 138,306	10,805,897	47.8	—	26.4	17.1	4.4
合計	—	—	21,712,878	96.1	—	54.1	36.2	5.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	千アメリカ・ドル 5,000	千アメリカ・ドル 5,482	千円 557,121	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	13,000	13,234	1,344,891	2019/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	10,000	10,406	1,057,478	2021/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	8,000	8,327	846,234	2025/02/15
	Mexico Government International Bond	国債証券	5.6250	2,500	2,546	258,813	2017/01/15
	BELGIUM GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8750	10,000	10,797	1,097,252	2024/09/18
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	500	539	54,822	2017/07/15
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.6250	1,000	1,377	139,979	2023/01/19
	通貨小計	銘柄数 金額	8銘柄		50,000	52,712	5,356,593
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	千カナダ・ドル 10,000	千カナダ・ドル 11,266	千円 874,971	2021/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	6,000	6,710	521,166	2022/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	13,000	14,478	1,124,379	2025/06/01
	Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	5,000	5,762	447,507	2021/12/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	5,000	5,688	441,753	2024/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.0000	3,000	3,394	263,651	2021/06/02
	BRITISH COLUMBIA	地方債証券	2.8500	3,000	3,290	255,516	2025/06/18
	CPPIB Capital Inc	特殊債券	1.4000	10,000	10,119	785,864	2020/06/04
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.4000	10,000	10,759	835,575	2022/12/15
	通貨小計	銘柄数 金額	9銘柄		65,000	71,470	5,550,387

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千オーストラリア・ドル	千円	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.5000	2,000	2,597	202,948	2033/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2500	14,000	16,848	1,316,357	2026/04/21
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	4.2500	10,000	11,124	869,141	2023/01/24
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	2.7000	3,000	3,064	239,464	2022/09/05
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	6.2500	7,000	7,463	583,153	2018/02/23
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.5000	5,000	5,839	456,247	2022/02/09
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	2.7500	10,000	10,251	800,926	2020/04/16
	KOMMUNALBANKEN	特殊債券	3.5000	5,000	5,138	401,459	2018/05/30
	Airservices Australia	特殊債券	2.7500	2,860	2,879	225,009	2023/05/15
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	7.0000	5,000	6,174	482,401	2021/07/15
	TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	6.0000	4,000	4,646	362,991	2020/06/15
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5.7500	14,000	17,556	1,371,661	2024/07/22
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	10,000	10,694	835,569	2026/07/21
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.8000	6,000	6,183	483,096	2021/01/13
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	5.7500	5,000	5,705	445,786	2020/07/28
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.5000	10,000	11,293	882,337	2019/08/07
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	2.8000	5,000	5,108	399,131	2021/01/15
ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	5,000	5,736	448,212	2022/03/09	
通貨小計	銘柄数 金額	18銘柄		122,860	138,306	10,805,897	
合計	銘柄数 金額	35銘柄				21,712,878	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	21,712,878 千円	96.1 %
コール・ローン等、その他	891,414	3.9
投資信託財産総額	22,604,293	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=101.62円、1カナダ・ドル=77.66円、1オーストラリア・ドル=78.13円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(22,301,074千円)の投資信託財産総額(22,604,293千円)に対する比率は、98.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	22,604,293,376円
コール・ローン等	574,406,235
公社債(評価額)	21,712,878,659
未収利息	144,669,941
前払費用	8,996,387
差入委託証拠金	163,342,154
(B) 負債	3
その他未払費用	3
(C) 純資産総額(A-B)	22,604,293,373
元本	14,668,963,049
次期繰越損益金	7,935,330,324
(D) 受益権総口数	14,668,963,049口
1万口当り基準価額(C/D)	15,410円

* 期首における元本額は18,103,347,462円、当期中における追加設定元本額は123,017円、同解約元本額は3,434,507,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー14,649,903,587円、ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー19,059,462円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,410円です。

■損益の状況

当期 自2016年2月11日 至2016年8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	401,991,378円
受取利息	401,876,753
その他収益金	127,378
支払利息	△ 12,753
(B) 有価証券売買損益	△ 1,238,366,792
売買益	1,125,676,656
売買損	△ 2,364,043,448
(C) 先物取引等損益	17,927,686
取引益	32,947,633
取引損	△ 15,019,947
(D) その他費用	△ 4,177,697
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 822,625,425
(F) 前期繰越損益金	10,823,938,336
(G) 解約差損益金	△ 2,066,059,570
(H) 追加信託差損益金	76,983
(I) 合計 (E + F + G + H)	7,935,330,324
次期繰越損益金 (I)	7,935,330,324

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2016年8月10日)

(計算期間 2016年2月11日～2016年8月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの第15期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で新興国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

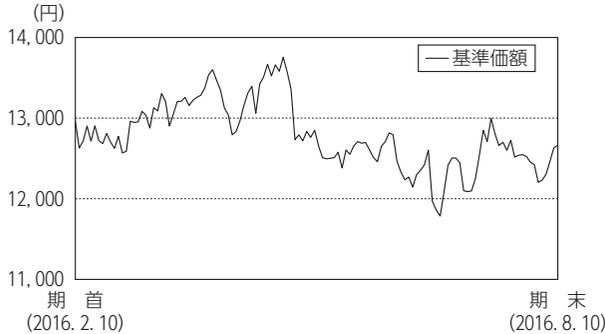
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,961円 期末：12,664円 騰落率：△2.3%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇はプラスに寄りましたが、為替相場が円に対して下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市況は、期を通してみると金利はおおむね低下（債券価格は上昇）しました。

米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市場の上昇から投資家心理が改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

○為替相場

新興国債券為替相場は、期を通してみると対円でおおむね下落しました。米国利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑等によって円高が進展したことから、投資対象通貨は南アフリカ・ランドを除き、対円でおおむね下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

年 月 日	基準 価 額		J.P.モルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰落率 %	参考指数	騰落率 %		
(期首) 2016年 2月10日	12,961	—	15,706	—	89.4	—
2月末	12,569	△ 3.0	15,607	△ 0.6	85.7	—
3月末	13,538	△ 4.5	16,832	7.2	89.5	—
4月末	13,575	4.7	16,657	6.1	90.9	—
5月末	12,689	△ 2.1	16,180	3.0	91.6	—
6月末	12,417	△ 4.2	15,824	0.8	92.2	—
7月末	12,524	△ 3.4	16,071	2.3	92.8	—
(期末) 2016年 8月10日	12,664	△ 2.3	16,088	2.4	92.7	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J.P.モルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。期中に信用力を考慮し、投資対象通貨および基本通貨配分の一部変更を行ないました。新たな基本通貨配分 (メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	7 (6)
(その他)	(0)
合 計	7

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年2月11日から2016年8月10日まで)

		買付額	売付額
外	トルコ	千トルコ・リラ 国債証券 49,881	千トルコ・リラ 29,088 (—)
		特殊債券 13,811	(—)
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 国債証券 1,388,309	千メキシコ・ペソ 264,483 (—)
		特殊債券 321,256	(—)
国	ブラジル	千ブラジル・レアル 国債証券 —	千ブラジル・レアル 377,045 (—)
	南アフリカ	千南アフリカ・ランド 国債証券 231,019	千南アフリカ・ランド 135,239 (—)
		特殊債券 78,802	(—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年2月11日から2016年8月10日まで)

買 付	当 期	期	
		買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	2,372,194	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/7/1	2,042,217
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	2,012,147	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/7/1	1,355,027
Mexican Bonos (メキシコ) 4.75% 2018/6/14	1,245,005	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	1,316,648
Petroleos Mexicanos (メキシコ) 7.65% 2021/11/24	1,193,187	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/10/1	1,309,203
Petroleos Mexicanos (メキシコ) 7.19% 2024/9/12	805,029	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2017/1/1	1,266,688
Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	797,365	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2025/1/1	1,067,246
Turkey Government Bond (トルコ) 8.3% 2018/6/20	763,213	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2018/1/1	1,058,879
Turkey Government Bond (トルコ) 9.4% 2020/7/8	727,325	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2017/1/1	825,174
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2031/5/29	699,965	Turkey Government Bond (トルコ) 9.4% 2020/7/8	667,442
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2018/12/21	694,788	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/1/1	660,628

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコ・リラ 150,400	千トルコ・リラ 146,523	千円 5,021,347	% 24.4	% —	% 14.9	% 0.3	% 9.2
メキシコ	千メキシコ・ペソ 1,360,000	千メキシコ・ペソ 1,454,381	8,013,642	39.0	—	26.0	5.7	7.3
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 833,965	千南アフリカ・ランド 791,365	6,014,376	29.3	—	15.5	11.4	2.4
合計	—	—	19,049,365	92.7	—	56.4	17.4	18.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					末		
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	9.0000	千トルコ・リラ 11,500	千トルコ・リラ 11,538	千円 395,417	2017/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	7.1000	10,000	8,863	303,762	2023/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	8.3000	30,000	29,657	1,016,369	2018/06/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	20,000	19,262	660,122	2023/09/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	30,000	31,330	1,073,706	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	32,900	29,916	1,025,254	2025/03/12
	Turkey Government Bond	国債証券	9.4000	2,000	2,011	68,949	2020/07/08
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.5000	14,000	13,941	477,764	2016/11/21
通貨小計	銘柄数 金額	8銘柄		150,400	146,523	5,021,347	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 80,000	千メキシコ・ペソ 102,310	千円 563,730	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	70,000	72,832	401,305	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	100,000	107,112	590,187	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	100,000	103,841	572,163	2021/06/10
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	100,000	114,666	631,809	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	360,000	422,474	2,327,833	2042/11/13
	Mexican Bonos	国債証券	4.7500	200,000	198,700	1,094,837	2018/06/14
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	200,000	195,098	1,074,989	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	150,000	137,347	756,784	2024/09/12
通貨小計	銘柄数 金額	9銘柄		1,360,000	1,454,381	8,013,642	

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千 円		
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	千南アフリカ・ランド 100,000	千南アフリカ・ランド 100,525	763,990	2018/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.2500	100,000	98,055	745,218	2020/01/15
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	100,000	113,314	861,186	2026/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	50,000	37,182	282,587	2036/03/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.7500	100,000	94,996	721,969	2021/03/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	50,000	37,317	283,609	2041/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	50,000	42,251	321,107	2031/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	120,000	113,310	861,156	2037/01/31
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	80,000	74,650	567,343	2030/01/31
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	—	16,965	16,101	122,368	2017/04/04
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	—	22,000	19,823	150,658	2017/12/29
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	15,000	15,286	116,180	2018/12/21
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	—	30,000	28,552	217,001	2017/04/07
通貨小計	銘柄数 金額	13銘柄		833,965	791,365	6,014,376	
合計	銘柄数 金額	30銘柄				19,049,365	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	19,049,365	92.5
コール・ローン等、その他	1,541,420	7.5
投資信託財産総額	20,590,786	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝101.62円、1トルコ・リラ＝34.27円、1メキシコ・ペソ＝5.51円、1南アフリカ・ランド＝7.60円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産 (19,740,487千円) の投資信託財産総額 (20,590,786千円) に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	21,565,573,943円
コール・ローン等	984,991,204
公社債 (評価額)	19,049,365,638
未収入金	1,190,883,937
未収利息	291,897,983
前払費用	48,435,181
(B) 負債	1,006,257,441
未払金	1,006,257,249
その他未払費用	192
(C) 純資産総額 (A - B)	20,559,316,502
元本	16,234,198,179
次期繰越損益金	4,325,118,323
(D) 受益権総口数	16,234,198,179口
1万口当り基準価額 (C / D)	12,664円

* 期首における元本額は16,567,313,332円、当期中における追加設定元本額は1,391,415,117円、同解約元本額は1,724,530,270円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型) - ダイワスピリット - 16,213,728,685円、ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型) - ダイワスピリット (年1回) - 20,469,494円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,664円です。

■損益の状況

当期 自2016年2月11日 至2016年8月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	772,512,799円
受取利息	772,723,307
支払利息	△ 210,508
(B) 有価証券売買損益	△ 1,244,343,359
売買益	1,181,499,751
売買損	△ 2,425,843,110
(C) その他費用	△ 11,208,293
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 483,038,853
(E) 前期繰越損益金	4,905,843,023
(F) 解約差損益金	△ 508,570,730
(G) 追加信託差損益金	410,884,883
(H) 合計 (D + E + F + G)	4,325,118,323
次期繰越損益金 (H)	4,325,118,323

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。